

# 糸島市議会議員アンケート結果

「糸島市原子力災害避難計画」に対して

## 回答者全員が不十分と回答

「脱原発いとしまネットワーク」は、5月1日糸島市議会議員 21 名に「玄海原子力発電所の再稼働に関するアンケート」を行い、12 名の議員から回答がありました。（裏面にアンケートと、回答数を掲載しています）

問 1 玄海原発 3・4号機の再稼働に対する回答は、賛成 1 名、反対 7 名 条件付き賛成 4 名でした。

問 4 「糸島市原子力災害避難計画」について、十分だと思いますか、の回答は、全員が十分でない、との回答で、その理由として多かったのが、避難道路の確保・避難時の渋滞対策等が不十分ある、でした。

回答がなかった議員 谷口一成・寺崎 強・浦 伊三次・笹栗純夫・堀田 勉・黒田公二  
田原耕一・中村 進・那須英仁（以上 9 名でした）

### 回答された議員の原子力発電に対するコメント（一部省略した部分もあります）

記載順はアンケート回答の着順です。

井上健作 終末処理場の確保

三嶋俊蔵 平成 25 年 12 月 17 日国へ「原子力エネルギーから再生可能エネルギーへの転換推進を求める意見書」を全議員賛成で議会として提出している。

藤井芳広 原発のリスクを考えれば、原発はエネルギーの選択肢に入れてはいけない。再生可能エネルギーの普及・導入の推進に力を入れるべきと考えている。

三嶋栄幸 再稼働は糸島市にとって何のメリットも無く、“原発に近い。”とイメージダウンになる。北朝鮮や中国がミサイルを打ち込んだ時の対応が出来ない。

岡村一伸 福島第一原子力発電所の事故の引き続き検証が必要

伊藤千代子 3月23日の説明会で、幼い子を持つ若い母親の皆さんが、胸を打つ必死な訴えをしても、それが、国・県・市・九電にまったく伝わらず、怒りと悲しみでいっぱいになった。利潤と利権のため人の心、血の通った命を守る政治が犠牲にされている、しかし、地球を破滅させかねない原発事故の恐ろしさを知れば、世論は変わり、政治も変わる。貴団体の奮闘に感謝します。

柳 明夫 原子力規制委員会の基準に合格したことをもって、再稼働を行うことは許せません。住民の安全を保障するものでないと、田中委員長も言っており、世界で最も厳しい基準と言う国の説明は、私達を愚弄するものです。原発なしでも電力が十分まかなえることはすでに証明されました。ただちに全原発を廃止すべきです。

高橋徹郎 コメントなし

波多江貴士（実効性ある避難計画を確立してからの議論である）と考えます。電柱の地下埋設や船舶での避難を検討すべき。

徳安達成 再稼働だけでなく原発政策が問題だと考える。

松月よし子 即時廃止を基本的に望むが、原子力発電所を廃止し廃炉にする場合、後処理などの解決策が構築されていないことを案ずる。現実的に存在する原子力発電所に対して、早期の学術的、技術的な専門分野の構築が急務と考える。又、代替エネルギーの安定的な供給と、その仕組みなどについても急務と考える。エネルギーについては暮らしに直結していることだけに（例えば医療的に必要な方など）慎重に考えて進めていくべきと思っている。

小島忠義 原発の無い社会が理想だと思います。どのような安全対策を施したとしても絶対はありません。しかし、現実を総合的に考えると・・・・。

# 玄海原子力発電所の再稼働などに関するアンケート

2017年5月1日

③ 数字は回答者数

貴職個人のご意見をお聞かせください。

それぞれの項目について、理由や注釈があれば、空欄もしくは別紙に自由にお書きください。

問1 九州電力は今夏にも玄海原子力発電所3号機及び4号機を再稼働しようとしています。この再稼働に賛成ですか、反対ですか。

ア) 賛成 ① イ) 反対 ⑦ ウ) その他

エ) 条件付きで賛成 ④

→その場合の条件とはなんですか (複数回答可)

A) 政府の安全確認と再稼働要請 ④

B) 周辺自治体の同意・理解 ③

C) 周辺自治体の避難計画の整備③

D) 周辺自治体の住民の合意形成 ③

E) 福島第1原子力発電所事故の検証 ③

F) その他 ①

問2 前問で「エ」のB・C・Dを1つでも選んだ方にのみお聞きします。

「周辺自治体」の範囲をどう考えますか。

ア) 立地自治体 イ) 立地自治体および安全協定を結んだ自治体

ウ) 30キロ圏内の自治体 ② エ) 県内に30キロ圏が含まれる長崎、福岡県 ①

オ) 50キロ圏内の自治体 カ) 250キロ圏内の自治体 キ) その他

問3 糸島市では、3月23日に再稼働に向けて住民説明会が開催されましたが、今後も住民説明会を開催する必要があると思いますか。

ア) 必要 ⑦ イ) 必要ない ② ウ) その他 ② 回答無し ①

問4 「糸島市原子力災害避難計画」は十分だと思いますか。

ア) 十分だ イ) 十分ではない ⑫

→どのような点が不十分でしょうか。(複数回答可)

A) 想定事故の規模 ④ B) 地震・津波など複合災害時の対策 ⑨ C) 避難道路の確保 ⑩

D) 避難時の渋滞対策 ⑩ E) 避難場所の確保 ⑦ F) 避難受け入れ先自治体との協体制 ④

G) 要援護者(高齢者、障害者、入院患者など)の避難支援 ⑧ H) 安定ヨウ素剤の配布 ⑤

I) 避難用車両などの移動手段的確保 ⑧ J) 国などからの適切な情報提供 ⑥

K) その他 ②

ウ) その他 ( )

問5 玄海原子力発電所を含め、現在存在する原子力発電所を今後どのようにすべきだと考えますか。

ア) 積極的に活用する イ) 年限を区切って活用し、縮小・廃止する ②

ウ) 代替エネルギー・技術が確立するまで活用し、縮小・廃止する ⑥

エ) 即時廃止する ⑤ オ) その他 ① ( )

問6 玄海原子力発電所の再稼働や原子力発電についてのお考えを自由にお書きください。

※ 表面の各議員のコメントは主にここに記されたものです。

ご協力ありがとうございました。

「脱原発！いとしまネットワーク」 <http://damatoraren2.jimdo.com>

代表 岡部寛喜

〒819-1314 糸島市志摩師吉 709-45

電話・FAX 092-327-2236

玄海原子力発電所 3 号機・4 号機の再稼働にあたり、  
「糸島市原子力災害広域避難個別計画」の改善を求める請願

紹介議員

## 請願事項

- 1 「糸島市原子力災害広域避難個別計画」に定める、避難先及び避難経路について全糸島市民に対し十分な周知を図ること。
- 2 玄海原発から 30 km 以遠の糸島市民の避難計画を早急に策定すること。(隣の福岡市は避難計画を策定している)

## 請願主旨

「糸島市原子力災害広域避難個別計画」では、空間放射線量が  $20 \mu\text{Sv}$ /以上の値が計測された場合、1 週間以内に一時移転を実施するとしており、また、避難手段を原則自家用車による避難としていますが、現在までの避難訓練は、対象市民のごく一部の参加にとどまっています。避難経路における交通混雑がどんな状況か、避難先に自家用車が駐車できるスペースがあるのか、避難先の受け入れ自治体の体制は十分か、糸島市民として大変な不安を感じています。

玄海原子力発電所から西側に位置する糸島市では、東京電力福島第一発電所の事故を見れば、風向きにより糸島市だけでなく、広く福岡都市圏全体が避難指示区域になることが予想され(福岡市は、玄海原子力発電所から 50 キロメートル圏外に 126 か所の避難所を計画)、現在の「糸島市原子力災害広域避難個別計画」では不十分です。

以上、玄海原子力発電所 3 号機・4 号機の再稼働にあたり、「糸島市原子力災害広域避難個別計画」の改善を求める請願をします。

糸島市議会議長 谷口 一成 殿

平成 29 年 8 月 25 日

脱原発！いとしまネットワーク

代表 岡部 寛喜

住所 糸島市志摩師吉 7 0 9 - 4 5

### 市議12人「避難計画 不十分」

#### 玄海再稼働 糸島市民のアンケートに回答

糸島市の市民グループ「脱原発！いとしまネットワーク」が糸島市議21人を対象に玄海原発再稼働に関するアンケートをとったところ、12人の回答者全員が市の避難計画を「十分ではない」と答えた。市民グループは9月定例市議会に「安心・安全な避難計画の策定を求めて」請願する予定だ。

アンケートは5月に実施。未回答の9人にも面談や電話で回答を依頼したが、「原発再稼働に賛成だから回答しない」「あなたたちとは考えが違う」など

の理由で回答が得られなかったという。

玄海原発再稼働への賛否を問う質問では、賛成が1人、反対が7人、条件付き賛成が4人だった。「案件」の内容を複数回答で聞いたところ、「政府の安全確認と再稼働要請」が最多で4人、「周辺自治体の同意・理解」「避難計画の整備」「住民の合意形成」などが3人で並んだ。糸島市では3月23日、原発再稼働に向けた国や九電の住民説明会が開かれた。「今後も住民説明会を開催

する必要があると思うか」と尋ねたところ、7人が「必要」と回答した。さらに市の避難計画が十分と思うかという質問では、12人全員が「十分ではない」と答えた。重ねて十分な点を複数回答で聞くと、避難道路の確保や避難時の渋滞対策、地震・津波の複合災害対策などを選んだ市議が多かった。

同グループは今後、アンケート結果をまとめたチラシ1300枚をJR筑前前原駅や波多江駅などの駅前で配ることになっている。岡部寛喜代表は「回答してもらえなかった人が多かったのは残念だが、市議会の過半数にあたる12人が避難計画を不十分と考えていることがわかり、希望が持てた」と話している。

(島居達也)

### NEWS

糸島市議の原発再稼働アンケート結果公表 糸島市の市民団体「脱原発！いとしまネットワーク」(岡部寛喜代表)は14日、市議を対象に玄海原発(佐賀県玄海町)の再稼働について尋ねたアンケートの結果を公表した。21人中12人が回答。回答者の全員が市の原子力災害避難計画について「十分ではない」と答えた。

再稼働(複数回答)については反対7人、賛成1人、条件付き賛成4人、その他1人。市民団体は市議会9月定例会に「安全・安心な避難計画」の策定を求める請願を行うとともに、アンケート結果を、実名入りのチラシなどで市民に紹介。次期市議選の投票の参考にしてもらうという。

原発について糸島市議にアンケート

#### 市民団体

市民団体「脱原発！いとしまネットワーク」(岡部寛喜代表)は、同市議会議員を対象に九州電力玄海原発3、4号機の再稼働についてのアンケートを行った。

アンケートは5月に実施、21人の議員のうち12人が回答した。質問は、再稼働に賛成か反対か、糸島市原子力災害避難計画は十分かなど6項目。

再稼働に対する回答は賛成1人、反対7人、条件付き賛成4人だった。災害避難計画につ

いては、全員が十分でない」と回答した。その理由として避難道路の確保・避難時の渋滞対策などが不十分であるなどを挙げている。

また、同会は9月の定例市議会に、安心・安全な避難計画の策定に関する請願を行う計画で準備を進めている。

佐賀・玄海原発

再稼働アンケート「避難計画は不十分」 糸島市議12人回答、市民団体が見直し請願へ 毎日新聞 2017年7月21日 地方版

玄海原発（佐賀県玄海町）の再稼働について、糸島市の市民団体「脱原発！いとしまネットワーク」が市議会議員21人にアンケートしたところ、回答した12人全員が「避難計画が十分ではない」と答えた。不十分な点に「避難時の渋滞対策」などを挙げており、同ネットワークは避難計画の見直しを9月市議会に請願したいとしている。

アンケートは今年5月、市議全員に用紙を配布して実施した。市の避難計画（2012年策定、15年一部改訂）について全員が「十分ではない」と回答。不十分な点（複数回答）は、「避難道路の確保」と「避難時の渋滞対策」が共に10人▽「地震・津波など複合災害時の対策」9人▽「要援護者（高齢者、障害者、入院患者など）の避難支援」と「避難用車両など移動手段の確保」が共に8人▽「避難場所の確保」7人――などが挙げられた。

再稼働に「賛成」は1人、「反対」7人、「条件付き賛成」4人。住民説明会の開催は「必要」7人、「必要ない」2人、「その他」2人、「回答なし」1人だった。

同ネットワークの岡部寛喜代表は「原発再稼働を、市議がどう考えているか聞きたかったのだが、回答者全員が避難計画を不十分と思っていたとは意外だった。議会に請願して、計画をより実効性のある内容にするよう働きかけていきたい」と話した。